

2 巡目国体に向けた県有スポーツ施設の整備について

教育庁スポーツ振興課
総合政策部総合政策課

1 コンサルタントによる施設規模の検討状況

(1) 陸上競技場

① 適合すべき施設基準

- ア 国体施設基準 ((公財)日本体育協会)
- イ 第1種公認陸上競技場の基本仕様 ((公財)日本陸上競技連盟)
- ウ スタジアム標準 ((公財)日本サッカー協会)

② 施設規模

施設内容	仕様・規模	備考(現施設)
トラック	全天候型、400m×9レーン	
フィールド	天然芝、107m以上×71m以上	
観客席	30,000席(固定席)	20,000席(固定7,000席)
面積	42,000㎡程度	32,114㎡
その他	補助競技場 21,000㎡程度 投てき練習場 7,000㎡程度 大型電光掲示板、照明装置	21,000㎡(第3競技場) 8,200㎡ いずれもなし
総面積	80,000㎡	61,314㎡

(2) 体育館

① 適合すべき施設基準

- ア 新リーグの入会審査基準(案) ((一社)ジャパン・バスケットボールリーグ)

② 施設規模

施設内容	仕様・規模	備考(現施設)
メインアリーナ	バスケ4面(バレー6面)分	バスケ2面
サブアリーナ	現施設と同程度	第1～第3別館
観客席	3,000席	1,780席
その他	体操練習室、登はん壁、駐車場800台	駐車場242台
総面積	延床面積 14,000㎡ 敷地面積 32,000㎡	7,223㎡ 15,976㎡

(3) プール

① 適合すべき施設基準

- ア 国体施設基準 ((公財)日本体育協会)
- イ プール公認規則 ((公財)日本水泳連盟)

② 施設規模

施設内容	仕様・規模	備考(現施設)
競泳用プール	長さ50.02m×幅25.02m 10レーン、水深2.0m	50m×21m 8レーン、水深1.55m
補助プール	25m	25m
飛込用プール	飛板、飛込台、水深4.5m	使用不可
観客席	2,500席(仮設含む)	2,000席(ベンチ席)
その他	水温調節装置、大型電光掲示板	いずれもなし
総面積	【屋内】延床面積 18,000㎡程度 建築面積 10,000㎡程度 【屋外】敷地面積 8,000㎡程度	10,600㎡

2 整備場所の調査・選定フロー

(1) ステップ1：広く整備候補地を抽出

〈抽出の視点〉

- ・ 既存の運動公園、県有地のほか、各市町村の意向を確認しながら、幅広く候補地を整理
- ・ 関係団体等へのヒアリングを実施（競技団体、関係機関等）



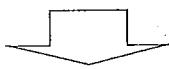
(2) ステップ2：絞り込み

〈絞り込みの視点〉

- ・ 法規制、インフラ、交通アクセス、利用圏人口、周辺環境への適合性、建設コストなど
- ・ 市町村との個別具体的協議



(3) ステップ3：総合評価



基本構想案の策定

【施設整備の基本的な考え方（評価指標）】

- ① 機能性（県内・広域アクセス性等）
競技を円滑に実施できる施設機能や、来場する選手・観客の利便性（ユニバーサルデザインなど）を確保する。
- ② 将来の活用（利用圏人口、宿泊・飲食・商業施設の充実度等）
国体等終了後もスポーツランドみやざきを支える中核的施設として活用するとともに、本県の観光をはじめとする地域振興にも役立つものとする。
- ③ 安全性（防災拠点としての活用の有無等）
地震や津波等の災害発生も想定して利用者の安全性を確保する。
- ④ 経済性（建設コスト、PFI導入可能性等）
建設費や維持費について、そのコストを可能な限り抑える。